

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	26年4月3日 25年 3月 日
住所 大阪府中央区難波五丁目1番60号 大阪府浪速区難波中二丁目7番2号	氏名 南海電気鉄道株式会社 代表取締役 亘 信二 南海不動産株式会社 代表取締役 口野 繁

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	26年 / 月 20 日			
工事完了予定年月日	27年 2 月 末 日			
特定建築物 の概要	名 称	(仮称)洛西口七ノ坪A棟計画 新築工事		
	所 在 地	京都府向日市寺戸町七ノ坪9番 阪急洛西口駅東地区土地区画整理事業5街区1-1		
	構 造	鉄筋コンクリート造	階 数	地上 9 階 地下 - 階
	敷地面積	586.12平方メートル	高 さ	29.08メートル
	建築面積	305.10平方メートル	床面積の合計 (増築部分の床面積)	2131.40平方メートル (平方メートル)
	用途別の床面積	住 宅	2131.40平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等		
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
工 場 等				
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	BEE=1.0、B+			

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	① 第11条の2第1号ア該当木材等 立方メートル ② 第11条の2第1号イ該当木材等 3.19立方メートル ③ 第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④ 第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 3.19立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途	内装下地材
	府内産木材等の使用基準量	3.19立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	3.19立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	別紙参照 平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	① 太陽光	36130.2メガジュール
	② 風力	メガジュール
	③ 水力	メガジュール
	④ 地熱	メガジュール
	⑤ 太陽熱	メガジュール
	⑥ バイオマス	メガジュール
	⑦ その他 ()	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	36130.2メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概要	
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	屋根：A種硬質ウレタンフォーム保温板2種3号 t=35 外壁：硬質ウレタンフォーム吹付B種1 t=20 床：押出法ホリスチレンフォーム保温板3種 t=30	
<input type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽		
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入	潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）を採用	
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	節水便器を採用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用		
<input type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	配管維持管理の為のピットを設置	
<input checked="" type="checkbox"/> 緑化の実施	敷地面積の10%の緑地を確保	
<input type="checkbox"/> その他		

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

- (1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容
- (2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。